

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
救急医療体制の対応日数			365日/年	365日/年	366日/年	365日/年			365日/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	366日/年	365日/年	・令和6年度 関係自治体・医師会等と連携し、救急医療体制を維持している。 ・5年間（対象期間） 関係自治体・医師会等と連携し、救急医療体制を維持している。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	366日/年	365日/年	非常勤医の応援により救急体制を維持している。				常勤医及び非常勤医を確保し、救急体制を維持する。		
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
休日救急体制の対応日数			72日/年	72日/年	73日/年	72日/年			72日/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	73日/年	72日/年	・令和6年度 救急医療を確保するため、医療従事者の確保対策事業及び、網走休日急病センターを運営するほか、24時間電話サービス事業にて市民の相談体制を構築している。 ・5年間（対象期間） 救急医療を確保するため、医療従事者の確保対策事業及び、網走休日急病センター、24時間電話サービス事業を実施している。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	73日/年	72日/年	非常勤医の応援により救急体制を維持している。				常勤医及び非常勤医を確保し、救急体制を維持する。		
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

イ．小児科及び産科医療体制の確保

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
産科医療機関数			3施設	3施設	3施設	3施設			3施設
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	2施設	2施設	・令和6年度 公的病院等の運営支援及び医師・看護師・薬剤師確保等の取り組みを実施している。 ・5年間（対象期間） 公的病院等の運営支援及び医師・看護師・薬剤師確保等の取り組みを実施している。				持続可能な産科医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	1施設	1施設	旭川医大の協力によって体制維持している。				現状維持。		
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

イ. 小児科及び産科医療体制の確保

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
小児科医療機関数			6施設	6施設	6施設	6施設			6施設
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3施設	3施設	・令和6年度 開業医誘致制度等により、小児科医療体制確保に向けた取り組みを実施している。 ・5年間（対象期間） R1に1医療機関の廃業があったものの、R2に1医療機関の新規開業があり、現状を維持している。				持続可能な小児科医療体制の確保に取り組む。コンビニ受診や重複受診を抑制することにより、医療機関の負担軽減を図る。		
斜里町	2施設	2施設	旭川医大の協力によって体制維持している。				現状維持。		
清里町									
小清水町	1施設	1施設	小清水赤十字病院に開設された小児科が安定的な運営が図られるよう財政支援を行っている。				子育て世代が安心して暮らすことができるよう、小児科医療体制の維持・確保に取り組む。		
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(2) 広域観光
ア. 観光振興の推進

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
女満別空港利用者数			46.8万人/年	73.4万人/年	76.8万人/年	80.4万人/年			100万人/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	76.8万人/年	80.4万人/年	各種団体などと連携した取組を通じて空港利用者数の増加に取り組むとともに、ひがし北海道各空港地域と連携した国内及び国外観光客への誘致促進施策を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の減退から完全に回復した状況にあり、今後は更なるインバウンドの増加等が見込まれる。				女満別空港民間委託の受託事業者（北海道エアポート）や女満別空港整備・利用促進協議会、ひがし北海道空港間の連携、地域連携DMOなどと連携し利用促進・利用者数の増加を図る。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(3) 教育

ア. 生涯学習の充実

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
ICTを活用した広域講座開催数			3回/年	2回/年	6回/年	13回/年			8回/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	1回/年	1回/年	・幼児を育てる親の子育て講演会（一般向け）をハイブリッド形式で開催 参加者 44名（オンライン16名、会場28名） ・斜網地区の会議等において、情報共有事項として周知及びチラシポスター配布				・幼児を育てる親の子育て講演会（一般向け）を可能な限りハイブリッド形式で開催していく。 ・ハイブリッド開催が望ましい内容や形式の講座があれば、同様の対応を検討していく。 ・事業広域化のため、情報提供のあり方について適宜検討していく。		
斜里町	3回/年	10回/年	高齢者等を対象としたスマホ講座を開催し、延べ42名が受講し携帯電話会社の方を講師に参加者にわかりやすく講座を実施している。				R6年度より開催担当部署が移管したが定期的にニーズにあった講座を開催している。		
清里町	0回/年	0回/年	町内での講座開催を実施したが、広域での開催には至らなかった。				他自治体と連携を図りながら、広域講座実施に向けた取り組みについて検討を行いたい。		
小清水町	0回/年	0回/年	実施に向け検討したが、実施には至らなかった。				今後も近隣自治体と協議しながら、どのような取り組みが良いか検討していく。		
大空町	2回/年	2回/年	自治会女性部で開催している「女性カルチャーセミナー」にて、高齢者向けのスマホ教室の実施。 家庭教育支援講座として親子でのプログラム体験会及びICTに係る講演会を実施。				多世代においてICT社会から取り残されないよう今後もICTに関する講座の開設を推進する。		

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(4) 環境

ア. 地域ぐるみによる環境関連活動の推進

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
自治体・自治会主催の地域美化活動の実施回数			346回/年	376回/年	352回/年	395回/年			371回/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	161回/年	180回/年	地域環境美化協定の募集を広報紙で行い、ボランティア清掃及び地域美化活動への支援についての、ホームページを更新するなどの周知を行った。 また、ごみ拾いアプリ「ピリカ」を導入し、清掃活動の可視化を行った。				広報紙等を通じて、地域美化活動推進の啓発を行うとともに、ごみ拾い促進アプリ「ピリカ」の導入による清掃活動の参加者の増加を進めていく。		
斜里町	33回/年	52回/年	・5月と10月に環境整備週間として年2回単位自治会で地域美化活動等に取り組んでいる。 ・各自治会の地域美化活動等で利用する公共用のごみ袋を配布している。				引き続き各単位自治会での取り組みを支援する。		
清里町	18回/年	18回/年	住民・関係機関・団体等が一体となって、春の雪融け後の環境美化の取り組みをおこなった。				今後も活動を継続的に実施し、清潔で住み良いまちを目指す。		
小清水町	63回/年	57回/年	春のゴミゼロクリーン作戦（秋は中止）、自治会連合会による花いっぱい運動、各自治会による資源リサイクル活動55回が実施され、地域の美化活動に寄与した。				ゴミゼロクリーン作戦、花いっぱい運動を継続するとともに、資源リサイクル活動を推進していく。		
大空町	77回/年	88回/年	公民館清掃や草刈りといった単位自治会主催の地域美化活動が、コロナ禍前の水準に回復している。				自治会連合会や自治会女性部連絡協議会など関係団体との連携をより一層強化し、住民の美化意識の向上に努める。		

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(4) 環境

イ. 生活環境・衛生環境の向上

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
汚水・汚泥処理施設を維持			10施設	10施設	10施設	10施設			10施設
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3施設	3施設	令和6年度実績 汚水量（全体）4,302,367㎥/年　うち　大空町（女満別）404,460㎥/年　、大空町（東藻琴）146,146㎥/年 令和6年度実績 汚泥量（全体）2,471.8 ｔ/年　うち　斜里町809.8 ｔ/年、大空町212.7 ｔ/年				引き続き、施設の適切な維持管理に努める。		
斜里町	2施設	2施設					引き続き継続していく。		
清里町	2施設	2施設	汚水量154キロリットル。				汚水量が減少傾向にあり、今後も施設の継続的な維持管理に努める。		
小清水町	3施設	3施設	小清水町全体の汚水量は325,318㎥/年（うち　小清水地区の汚水量295,421㎥/年、浜小清水地区の汚水量20,908㎥/年、止別地区の汚水量8,990㎥/年）				年々人口の減少に伴い、汚水量も減少傾向にある。今後については、最適整備構想や経営戦略を考慮しながら維持管理に努める。		
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(5) 防災

ア. 防災対策活動の推進

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
1市4町連携体制確立のための意見交換及び合同研修の実施			0回/年	1回/年	0回/年	1回/年			1回/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	0回/年	1回/年	1市4町における防災に関する連携体制の確立が図られるよう、防災（災害対策）担当者による意見交換及び合同研修会を持ち回り実施することとしており、令和6年度は大空町で開催した。				防災担当者会議等の場において情報交換を重ね、関係機関との連携を図る。 （令和7年度は斜里町で開催予定）		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
中心市における子育て支援センター登録組数			7組	7組	9組	11組			35組
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	9組	11組	登録組数は9組から11組と2組増加した。（22％増）				現在の増加数・率が継続しても目標値を達成できないため、登録組数拡大に向けた取組を検討する。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標（KPI）				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
基幹相談支援センター新規利用人数				65人	66人	63人	98人			90人
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	26人	20人	新規利用人数は前年度と比較すると若干減少してはいるものの、継続して相談している方の人数は増加しており、障がいがある方に対しては、センターの認知度・ニーズは高まっているものと思われる。					引き続き、基幹相談支援センターの取り組み内容など広く周知していくとともに、圏域自治体が設置を進める「地域生活支援拠点」について、基幹相談支援センターを設置後の総合的な窓口とするための取り組みを行っていく。		
斜里町	20人	52人	令和6年7月より町内における受託事業所が変更となった。事業所の取り組みにより目標値を上回っている。					今後も1市4町で同様の取り組みを進める。		
清里町	12人	6人	困難ケース等、専門的な相談業務を実施。家庭訪問での相談支援や、他市町のグループホーム・施設等、相談者に適した事業所の紹介を行っている。					令和6年7月より運営法人が再委託を行い、斜里町の地域活動支援センター内へサテライト事業所が移動となった。地域活動支援センター等と共同し、相談機会の増加や、障がい児者の交流・社会参加の促進を図る。		
小清水町	2人	2人	令和3年8月に1市4町により設置し、障がいのある方やその家族からの相談に応じるとともに、各市町の相談支援事業所等に対する支援等を行い、地域の相談支援の中核機関として総合的・専門的な相談支援を実施している。					1市4町の単位で地域生活支援拠点の整備を図ることとし、その拠点機能を基幹相談支援センターが担い、拠点の持つ機能の具体について検討を進めている。		
大空町	3人	18人	相談件数の大きな増加は、様々な事情により、継続的な対応が必要となる相談事例が増えたことによるものと考えています。					域内自治体や関係機関と連携して、個別困難ケース等への対応や地域課題把握と解消策の検討等を行っていきます。		

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
認知症サポーター養成人数				8,053人	8,382人	8,628人	8,784人			9,348人
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	3,790人	3,817人	平成28年度より認知症サポーターに係る事業として「網走市認知症サポーターのいるお店登録事業」を開始しており、平成29年度には個人申込みにより参加できる認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターの養成に取り組んでいる。					引き続き、認知症サポーターの増加を図り、認知症の理解や関心を高め、認知症の人がいつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを推進する。		
斜里町	2,007人	2,044人	・これまでは、講座開催の希望があった団体・企業・学校に対して、サポーター養成講座を実施してきた。 ・今年度より、町の出前講座メニューに本講座を登録したことで、これまで同様の内容で実施してきた講座を、正式に「サポーター養成講座」として位置付けて提供できるようになった。					・サポーター養成講座の受講者の中から、意欲のある方を把握し、ステップアップ講座の受講につなげていきます。 ・なお、斜里町ではこれまでステップアップ講座の開催実績がないため、今年度はその初開催を目指します。		
清里町	330人	383人	民生児童委員やSOSネットワーク事業協力事業者などの福祉関係者だけではなく、町職員研修、自主サークル、少人数グループでの講座等、住民が受講しやすい形態で多岐にわたる実践を行った。					各種事業や相談業務を通じ認知症サポーター養成講習の普及啓発を継続して行う。また、既存のサポーター向けに認知症サポーターステップアップ講座を実施し、実際にサポーターが地域で活躍できる交流の場を創出し、認知症支援を通じ地域共生社会の実現を目指す。		
小清水町	1,045人	1,060人	平成24年度より認知症サポーター事業を開始。平成28年度より「小清水町認知症サポーターのいるお店登録事業」を開始。平成30年度より、地元企業を共催し、町立図書館にて認知症サポーター養成講座を開催。令和6年度より、認知症地域支援推進員とも共催し、認知症サポーターの養成に取り組んでいく。					共生社会の実現を推進するための認知症基本法の施行に合わせ、認知症サポーターの増加を図るとともに、認知症の理解や関心を高め、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って、いつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりができるよう、「チームオレンジ」の立ち上げを検討している。		
大空町	1,456人	1,480人	R6年度、小学生、高校生、一般を対象に合計3回の講座を開催し、サポーターを養成した。また、ステップアップ講座も開催しチームオレンジ発足に向けて活動を進めた。					引き続き、認知症サポーターの増加を図り、認知症に対する理解や関心を高め、認知症があっても住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを推進する。		

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ア. 圏域経済の活性化と雇用の創出

成果指標（KPI）				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
自治体・会議所（商工会）が支援した起業・創業数（累積）				17件	27件	47件	71件			72件
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	18件	33件	市の起業関連補助金を活用し起業に至った事業者等は令和6年度は15件で、目標値は達成された。					引き続き制度の周知に努めるとともに、商工会議所と連携した創業相談体制を維持することにより経済の活性化を図る。		
斜里町	5件	9件	令和6年度においては、宿泊業・小売業・漁業・ガイド業など、幅広い業種への支援を行った。本事業（ビジネスサポートフォローアップ事業）は、起業・創業支援のみならず、国や北海道の支援策の対象とならない事業にも対応していることから、事業者から高い評価を得ている。					令和7年度より、本事業の要綱を改正し、補助対象者の追加や補助率の要件拡大を行うことで、より事業者が活用しやすい制度へと発展させる。		
清里町	6件	7件	公益性及び公共性が高く、日常生活を営むうえで必要性の高い事業実施への支援を行った。					消費行動の向上及び地域経済の活性化を目的とし、対象業種を飲食関係事業に限定し、開業準備経費及び家賃の支援を行うため制度改正を行った。 また、経営の安定及び維持を図るため、新規創業する者に対して、融資制度の利子補給を拡充し支援を行う。 なお、飲食関係事業以外の開業については、店舗改修支援として、店舗の改修、改築、設備導入等の支援を行う。		
小清水町	12件	14件	前年度対比で減少となったが、過去4年の平均値では3.75件で推移しており、着実に地域内の経済と雇用の活性に貢献している。					町HPをはじめ、町webアプリ、町広報誌掲載などによる情報発信を通じて、町内事業者の商業活動を引き続き支援していく。		
大空町	6件	8件	商工会と連携し、起業化支援補助金を活用したことで様々な業種の起業化に繋がっている。					今後も商工会と情報を共有しながら、商工業の担い手不足、事業者数の減少対策のため新たな起業に繋がる取組を行っていく。		

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興
イ. 水産資源の確保

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
シジミ漁獲量			534t	318t	304t	346t			650t
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	304 t	346 t	R6については、シジミ漁獲量は基準年比65%となり、シジミ産卵不振などによる資源減少から生産計画を減産した。				近年、湖内環境の変動により産卵不振が続く等の要因で資源量が大幅に減少していることから、漁獲調整を継続している。 この問題については、資源が回復傾向にあるものの依然として漁獲対象資源量は低水準であることから、網走湖シジミ資源対策検討会で対策を検討するとともに、引き続き網走湖の環境及び有用資源に関する調査を実施する。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興
イ. 水産資源の確保

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
サケ漁獲量			10,266t	19,473t	21,782t	21,272t			13,900t
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	8,327 t	6,866 t	R6については、サケ漁獲量は基準年比131%となり、目標値を大きく上回った。				継続して目標値を達成できるよう、引き続き、沿岸調査、網走東部地区さけます資源対策協議会や広域浜プランにおいて各種調査を実施する。		
斜里町	13,455t	14,406t	R5に引き続き、漁獲量は増となった。				ふ化増殖事業を始めとした資源増殖対策、資源管理対策に関係者が協力して取り組む。		
清里町									
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ．農林業振興の推進

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
新規農業参入者数（5ヶ年累積）			5人	2人	8人	9人			13人
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	2人	2人	農地の確保等環境に依拠する部分はあるが、希望者への支援制度紹介等を進めている。				新規農業参入者支援事業を進めるほか、就農者を支援する制度を周知していく。		
斜里町	1人	2人	関係機関（町、農協、農業改良普及センター、農業委員会、地域農業者）との情報共有を図っている。 畑作における新規就農のハードルは高いが、果樹生産による新規就農者となった（R6）。				優れた農業経営者又は地域リーダーを育成するため、農業後継者及び新規農業参入者の確保を図る。		
清里町	0人	0人	清里町農業担い手育成協議会により、新規就農や農業労働力確保を目的とした農業体験実習生の受け入れ事業を重点項目として実施しているが、新規就農には至っていない。				新たな担い手の確保への取組みとして、新規就農実績の多い地域への視察や第三者承継等についての勉強会等を検討・実施予定。		
小清水町	2人	2人	経営開始直後の新規就農者に対し支援金を交付し、農業経営の安定化に寄与している。また、就農時準備等に要する経費等の情報提供を行い円滑な就農の推進を図っている。令和6年度の新規農業参入は0名であった。				新規参入者に対し、第三者農業経営継承コーディネーターチーム会議などを実施し、円滑な就農の推進を図ります。		
大空町	3人	3人	現在、新規農業参入希望者（経営継承希望者）がいないため、第三者経営継承に向けた取組は行っていない。				第三者経営継承など多様な担い手を受け入れられる基盤づくりを進めていくこととし、未来につながる農業の実現を目指していく。		

Ⅰ 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興
ウ．農林業振興の推進

成果指標（KPI）				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
農林業の鳥獣被害の減少				—	—	—	—			被害防止計画に
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	39,186千円	39,874千円	有害鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、鳥獣被害防止対策及びハンター数維持の施策により、有害鳥獣の捕獲数は高水準で維持しているが、国有林内での銃猟規制などにより個体数が増加している影響もあり、農業被害の減少に至っていない。 【鳥獣被害防止計画】基準年（R2）37,400千円 → 目標年（R6）33,660千円					鳥獣被害防止対策事業を継続し、国有林内での銃猟規制の緩和を要望するなどして、有害鳥獣の個体数を削減し、農業被害の軽減を図ります。		
斜里町	19,314千円	17,954千円	農用地への侵入防止対策（捕獲・駆除、防護柵の点検等）を実施 【鳥獣被害防止計画】基準年（R4）28,254千円 → 目標年（R8）26,841千円					鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、被害額の減少を図ります。		
清里町	11,744千円	48,191千円	令和6年度被害額の単価の見直しを行ったため前年度比較410%になっているが、被害面積は減少している。（被害面積R5 284.05ha・R6 76.24ha） 【鳥獣被害防止計画】基準年（R3）11,114千円 → 目標年（R6）8,446千円					鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、駆除することで被害額の減少を図ります。		
小清水町	163,021千円	117,451千円	令和4年度より継続して、エゾシカの個体数の削減を目的に、農業被害の多い1地区に自動落下式ゲートを使用した小型囲いわな、くくりわな（令和5年度より）による捕獲を行った。捕獲適地の抽出、地形や環境に即した行動特性の把握をし、地域ぐるみで対策を進め、中長期の視点で継続的に取り組んでいる。 【鳥獣被害防止計画】基準年（R2）84,934千円 → 目標年（R6）76,441千円					鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、駆除することで被害額の減少を図っていく。		
大空町	39,436千円	41,884千円	農作物被害の9割以上が、エゾシカによるものであり、令和6年度の捕獲頭数は約340頭で、前3年の捕獲頭数平均の約210頭の6割以上増加しているが、被害は減少していない状況である。 【鳥獣被害防止計画】基準年（R3）40,770千円 → 目標年（R7）32,616千円					電気牧柵や鹿柵による防除対策と合わせて、エゾシカの捕獲頭数を拡大するため、実施隊員を中心としてハンターへのエゾシカ捕獲や移動経費等の手当に加えて、捕獲したエゾシカ残滓の運搬及び処分についても、国及び北海道による補助事業を活用しながら支援していく。		

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ．農林業振興の推進

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
Gp確認ほ場すべての検出限界以下を目指す			330ha	179ha	108.15ha	56.15ha			0ha
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	55ha	27ha	令和6年度は27haを防除。圃場全面で防除作業が完了した圃場で土壌検診を実施した結果、4.82ha（1圃場）で検出限界以下を確認した。なお、新たに3.28ha（2圃場※うち1.35ha〈1圃場〉は東藻琴地区）でGpを確認。※Gp確認圃場925.60ha（225圃場）のうち、工場・倉庫用地に転用された0.63ha（4圃場）を除く916.92ha（221圃場）が令和6年度までに検出限界以下となった（面積割合99%）。				国・北海道と連携し、Gpの緊急防除に取り組むとともに、蔓延防止対策を行う。		
斜里町	50ha	26ha	農水省、安全局植物防疫課及び北海道による緊急防除を実施し、Gp発生圃場は減少している。				緊急防除によりGpの再発防止、対象圃場面積の減少に努める。		
清里町	3.15ha	3.15ha	現在までのところ、防除活動は順調に進展しており、一部圃場では感染拡大が抑制されている。ただし、完全根絶には時間と継続的な努力が必要。引き続きJA、農業者との連携を深めながら、対策強化に努める。				令和7年度 1 圃場1.38ha。対抗植物2回播種を行い、すべての圃場のGp検出限界以下を目指す。		
小清水町									
大空町									

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ．農林業振興の推進

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
農業用水の安定確保（畑地かんがい面積の維持）			20,229ha	20,205ha	20,205ha	20,205ha			20,229ha
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3,733ha	3,733ha	農業用水の安定確保のため、1市4町で連携し、国営畑地かんがい事業施設（緑ダム等）の維持・管理を行っていく。				引き続き、1市4町で連携し、国営畑地かんがい事業施設（緑ダム等）の維持・管理を行う。		
斜里町	3,238ha	3,238ha	適正な維持管理の実施				受益者ほ場の干害、風害防止や農業活性化を図るため国営畑地かんがい事業施設（緑ダム、頭首工等の共用施設）の維持・管理を行う。		
清里町	4,894ha	4,894ha	畑地かんがい用水事業は順調に進展しており、地域農業振興のみならず、安全・安心な食料供給体制づくりにも大きく寄与する。今後とも継続的な改善と革新的技術導入によってさらなる発展を目指す。				老朽化した施設・設備を更新し、水資源の適正管理を行う。		
小清水町	6,403ha	6,403ha	小規模で受益地の公共転用等があったが、近隣農地へ受益地の移動を行い面積の確保を行なった。				R16年度の水利権更新に向けて今後も受益面積の確保を図っていく。		
大空町	1,937ha	1,937ha	道営事業・団体営事業により畑地かんがい施設の更新を実施				畑地かんがい施設の拡大（面積、末端かんがい施設）や老朽化が進行している施設等の更新		

II 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(1) 地域公共交通

ア. 地域公共交通の維持・確保

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
日常生活圏域内における中心市を介して往来可能なエリア数			7エリア	7エリア	7エリア	7エリア			7エリア
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	7エリア	7エリア	自家用車に依存した生活が定着しており、路線バスなどの公共交通機関の利用者数が減少している状況である。 ※7エリア：大空町女満別、美幌、斜里、清里、小清水、大空町東藻琴、常呂				各路線の乗降状況や運営状況などを把握するとともに、新たな交通手段についても研究しながら地域公共交通路線を維持できるように引き続き検討を行っていく。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

II 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア. 交流・移住受入体制の促進

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 (R8)
お試し暮らし体験数			13件/年	39件/年	38件/年	28件/年			17件/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3件/年	3件/年	市公式サイトにおける移住情報の発信などの周知により目標を達成した。				引き続き、制度周知に努めるとともに、より効果的な取り組みについて検討する。		
斜里町									
清里町	17件/年	5件/年	テレワーク用住宅3棟が設備不良のため令和5年度をもって閉鎖し、令和6年度から1棟になったため実績が大幅に減少した。				交流人口拡大のため、より効果的な取り組みについて検討する。		
小清水町	2件/年	5件/年	体験数については維持しており、関係人口の貢献に繋がっている。				今後について、SNSでの発信などを通じて、体験数の増加を目指します。		
大空町	16件/年	15件/年	昨年度より1件減少した。昨年度は40代から70代の方の利用が多くみられた。				お試し暮らしから移住につながる件数があまりないことから、令和7年度も体験ツアーなどを組み込み、実際の移住に向けたイメージ作りや準備期間として有効に利用していただけるような取組を進める。		

II 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進 イ. 交流人口の拡大

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
スポーツ合宿参加人数			823人/年	1,196人/年	1,243人/年	1,458人/年			1,881人/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	844人/年	911人/年	R3はR2から続く新型コロナウイルス感染症の影響の中、新たに女子プロサッカー1チームの合宿があり微増に留まった。 R4も続く感染症の影響の中、女子プロサッカー3チームや高校サッカーの全道大会により合宿が増加した。 R5はラグビー2チームの合宿があったものの、前年のサッカー大会分が減ったため前年比では減少したが、R3との比較では増加した。 R6は女子プロサッカー3チームや男子ラグビーセブンズ日本代表及び同アカデミーの合宿などにより増加した。 R7は新たにサッカーJリーグチームの視察受け入れや合宿を見込む。				引き続き、合宿競技の関係者と積極的な交渉・協議を行い、要望等を整理しながら誘致活動を継続していく。特に、ラグビーはリーグ開催時期の変更に伴い網走での合宿最盛期までの復調が見込めなくなったが、誘致活動は今後も続け今後の可能性を探る。併せて女子プロサッカーチームの合宿増に向け誘致活動に注力する。また、2026-27シーズンから秋春制に移行するサッカーJリーグの合宿視察を受け入れ、積極的な誘致活動に務める。		
斜里町	114人/年	221人/年	斜里町では、スポーツ協会加入団体により構成された合宿誘致実行委員会があり、合宿の誘致活動や合宿にかかる経費の補助を行っている。令和6年度は4団体221人が当町で合宿を行った。				今後についても、合宿誘致実行委員会が窓口となり、当町で行われる合宿対応を行う。		
清里町	40人/年	48人/年	コロナウイルス感染症の拡大により合宿の受入れが途切れていたが、5類移行後は増加傾向にある。				引き続き、合宿競技の関係者と積極的な交渉・協議を行い、受入れを継続していく。		
小清水町									
大空町	245人/年	278人/年	誘致している団体はバスケットボール・バレーボール・相撲の3種目である。旅費の高騰や地元の宿泊施設の減少により、合宿団体が近年減少している。				宿泊施設の減少に伴い、規模拡大は図らない。団体を受け入れている合宿実行委員会と教育委員会が連携を図り、より質の高い団体受入れを行い、スポーツ教室を通じた町民還元を行う。		

III 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(1) 人材の育成

ア. 人材の育成

成果指標（KPI）				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
研修会等参加者数				97人/年	147人/年	158人/年	183人/年			110人/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	158人/年	183人/年	人口減少社会において、人材育成に関する研修の助成を行っている。（建築技能者等地域定着促進事業：74人、網走職業訓練協会補助金：67人、若者技能者人材育成・地元定着支援事業：35件、中小企業人材育成補助金：7人）					今後も人材育成・人材確保事業を支援し、引き続き人材確保・地元定着の促進を図る。		
斜里町										
清里町										
小清水町										
大空町										

III 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア. 市町間職員研修交流

成果指標（KPI）			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7	R8	目標値 （R8）
合同研修の実施回数			1回/年	1回/年	1回/年	1回/年			1回/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	1回/年	1回/年	職員の資質及び政策課題への対応力を高めるため、合同で政策形成研修を実施した。 （参加者：網走市14名、小清水町3名、大空町3名）				東オホーツク定住自立圏の構成自治体による合同研修を実施し、職員の能力向上や職員間の交流に取り組む。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

III 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア. 市町間職員研修交流

市町名
 成果指標（KPI）
 R3
基準値
 R4
実績値
 R5
実績値
 R6
実績値
 R7
 R8
 目標値（R8）

パートナーシップ宣誓制度に係る担当者会議開催数			0回/年	-	4回/年	1回/年			1回/年
市町名	R5実績値	R6実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	4回/年	1回/年	パートナーシップ宣誓制度について、情報共有および協議のため、合同で担当者会議を開催した。				今後も担当者会議を開催し、より良い制度になるよう情報共有・協議を続ける。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									